

NY マーケットレポート (2017 年 3 月 7 日)

NY 市場では、米国の利上げ期待の高まりを背景に、日米の金利差拡大を意識した円売り・ドル買いが先行した。そして、序盤に発表された米貿易収支では、赤字額が拡大となり、2012 年 3 月以来の高水準となったものの、市場予想と一致したことや、市場の関心が週末の米雇用統計に注がれていることも影響し、限定的な動きとなった。その後は、3/9(木)の ECB 理事会や、3/10(金)の米雇用統計の結果を見極めたいとの様子見ムードも強く、ドルやユーロなど主要通貨は限定的な動きが続いた。

2017年 3月7日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.85	114.07	113.81
EUR/JPY	120.64	120.72	120.48
GBP/JPY	139.16	139.63	139.09
AUD/JPY	86.65	86.91	86.27
EUR/USD	1.0597	1.0600	1.0573

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.06	113.74
EUR/JPY	120.64	120.40
GBP/JPY	139.23	138.80
AUD/JPY	86.65	86.47
EUR/USD	1.0604	1.0558

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.96	114.15	113.89
EUR/JPY	120.43	120.66	120.42
GBP/JPY	139.07	139.25	138.73
AUD/JPY	86.49	86.80	86.45
NZD/JPY	79.26	79.77	79.24
EUR/USD	1.0568	1.0590	1.0561
AUD/USD	0.7590	0.7611	0.7584

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20924.76	-29.58
S&P500	2368.39	-6.92
NASDAQ	5833.93	-15.25
日経225 (CME)	19340	-30
トロント総合	15608.78	-20.97
ボルサ指数	47419.16	-464.43
ボエスバ指数	65742.31	-599.05

3/8 経済指標スケジュール

08:50	【日本】4Q GDP
08:50	【日本】1月経常収支
08:50	【日本】1月貿易収支
11:00	【中国】2月貿易収支(時間不確定)
13:30	【日本】2月企業倒産件数
14:00	【日本】1月景気先行CI指数
14:00	【日本】1月景気一致CI指数
15:00	【日本】2月景気ウォッチャー調査
16:00	【トルコ】1月鉱工業生産
16:00	【ドイツ】1月鉱工業生産
16:45	【フランス】1月経常収支
16:45	【フランス】1月貿易収支
17:15	【スイス】2月消費者物価指数
17:30	【スウェーデン】1月個人消費
18:30	【南アフリカ】2月SACCI景況感指数
19:00	【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:15	【米国】2月ADP雇用統計
22:15	【カナダ】2月住宅着工件数
22:30	【米国】4Q非農業部門労働生産性
22:30	【米国】4Q単位労働費用
22:30	【カナダ】4Q労働生産率
22:30	【カナダ】1月住宅建設許可
00:00	【米国】1月卸売在庫
00:00	【米国】1月卸売売上高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1216.10	-9.40
NY 原油	53.14	-0.06
CMEコーン	376.00	-2.50
CBOT 大豆	1025.25	-12.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.326%	1.301%
3年債	1.604%	1.579%
5年債	2.046%	2.016%
7年債	2.340%	2.310%
10年債	2.512%	2.493%
30年債	3.114%	3.099%

ドイツ10年債	0.319%	0.342%
英国 10年債	1.193%	1.213%

3/8 主要会議・講演・その他予定

・米10年債入札

NY 市場レポート

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月米貿易収支 -485 億 USD (予想 -485 億 USD・前回 -443 億 USD)



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀米貿易収支▶

	1 月	12 月	11 月	10 月	9 月	前年同月
入出超	-484.9	-442.6	-454.8	-425.8	360.3	-433.6
輸出	1920.9	1910.1	1860.0	1864.0	1902.1	1788.1
輸入	2405.9	2352.7	2314.8	2289.8	2262.4	2221.7

(単位 億ドル)

1 月の米貿易収支では、赤字額がモノとサービスを合わせた国際収支ベースで前月比+9.6%の484 億9200 万ドルと2 カ月ぶりに拡大し、2012 年3 月以来の大きさとなった。輸入の増加が輸出の増加を上回ったことが要因となった。また、対日赤字は前月に比べ大幅に減った一方、対中赤字は大幅に増加した。

①輸出総額は+0.6%の1920 億9400 万ドルと2 カ月連続の増加、自動車・同部品などが増えた。輸入総額は+2.3%の2405 億8600 万ドルと4 カ月連続のプラス、携帯電話や家庭用品などの増加が目立った。モノの貿易赤字は、+6.1%の696 億8400 万ドル。

②国・地域別では、対日赤字が-16.2%の54 億7300 万ドルとなり、自動車・同部品の輸入が減った。対EU 赤字は-5.6%、対中赤字は+12.8%となった。

③2016 年の年間の貿易赤字は5005 億6000 万ドルに下方修正され、前年からの拡大率は+0.04%に縮小した。拡大は3 年連続。

22:30

＜ 経済指標の結果 ＞

1月カナダ国際商品貿易 8.1 億 CAD (予想 7.5 億 CAD・前回 4.5 億 CAD)
 前回発表の 9.2 億 CAD から 4.5 億 CAD に修正

0:00

＜ 経済指標の結果 ＞

3月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 55.3 (前回 56.4)

指標結果データ

＜IBD/TIPP 景気楽観指数＞

3月・2月・1月・12月・11月・10月
 景気楽観指数・・・55.3・56.4・55.6・54.8・51.4・51.3
 半年先の景気先行・・・53.6・55.6・56.0・56.3・52.2・50.4
 資金繰り見通し・・・62.6・62.8・62.3・59.8・58.9・59.9
 政府の政策信頼度・・・49.6・50.9・48.5・48.3・43.1・43.5

3月の IBD/TIPP 景気楽観指数は、前月から 1.1 ポイント低下の 55.3 となり、6ヵ月ぶりの低下となったが、節目の 50 は 6ヵ月連続で上回った。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目される。50 を上回ると楽観的と判断する。

0:00

＜ 経済指標の結果 ＞

2月カナダ Ivey 購買部協会指数 55.0 (予想 58.5・前回 57.2)



出所：Bloomberg

＜ NY 債券市場 ・ 午前＞

序盤のニューヨーク債券市場は、米 3 年債入札を前に、ポジション調整の売りが先行した。米 FRB が来週の FOMC で追加利上げに踏み切るとの見方も引き続き圧迫要因となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.11% (前日 3.10%)、10 年債が 2.51% (2.49%)、7 年債が 2.33% (2.31%)、5 年債が 2.04% (2.02%)、3 年債が 1.60% (1.58%)、2 年債が 1.32% (1.30%)。

3:00

《米財務省 3 年債入札》

最高落札利回り・・・1.630%（前回 1.423%）
 最低落札利回り・・・1.500%（前回 1.188%）
 最高利回り落札比率・・・17.70%（前回 13.03%）
 応札倍率・・・2.74 倍（前回 2.78 倍）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。今週予定されている ECB 理事会の結果や米雇用統計の内容を見極めたいとの思惑から、積極的な売買が手控えられ、方向感の乏しい動きとなった。英 FT100 指数は小幅安となり、独 DAX 指数は小幅高となった。

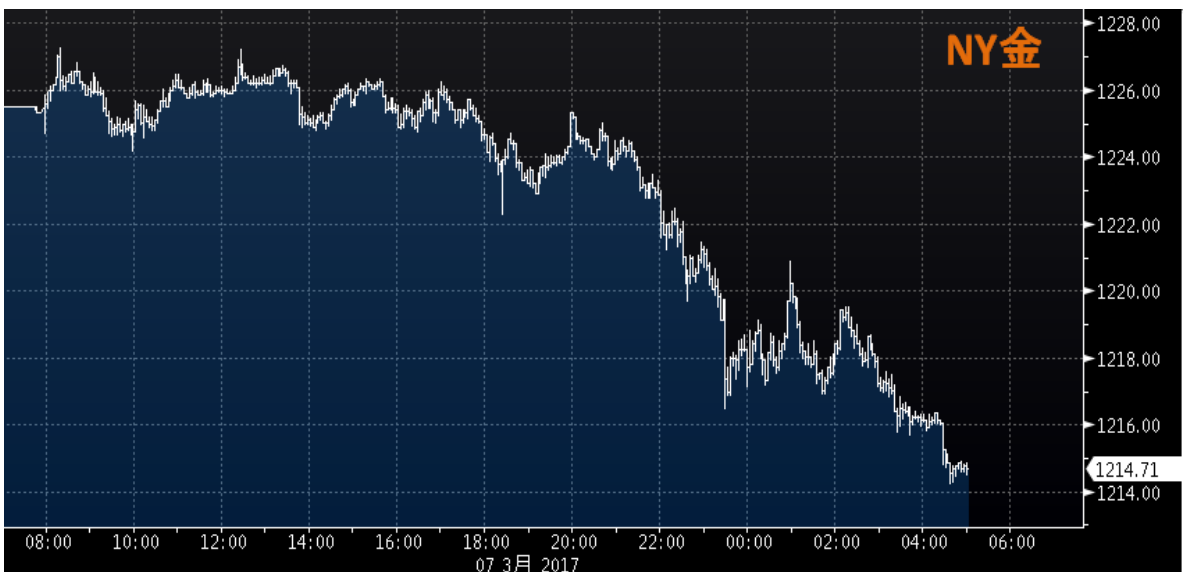


出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 9.40 ドル安の 1 オンス=1216.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、FRB が来週の FOMC で追加利上げに踏み切るとの見方が、引き続き相場を圧迫した。また、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなったことも圧迫要因となり、終値ベースでは、2 月上旬以来、約 1 ヶ月ぶりの安値水準となった。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

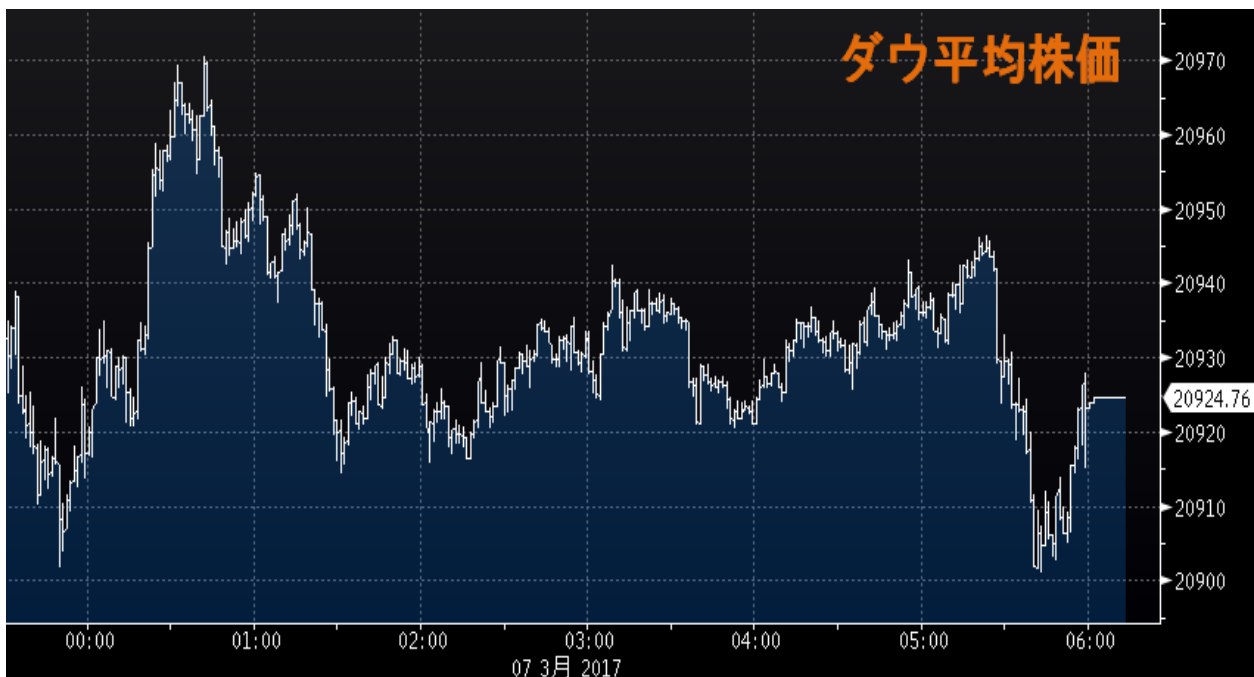
NY 原油は、中心限月が前日比 0.06 ドル安の 1 バレル＝53.14 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国と非加盟国の協調減産に伴う需給改善の期待が相場を下支えしたが、その後は 3/8 発表の米石油統計で原油在庫の増加が見込まれるとして利益確定売りが広がった。



《 米株式市場 》

米株式市場は、トランプ米大統領がツイッターで薬価引き下げへ新制度を検討していると発信したことを受けて、医薬品株が収益悪化の懸念から売られたことなどが影響し、序盤から軟調な動きとなった。その後、一時プラス圏まで反発する場面もあったが、終盤にかけて再び軟調な動きが続いた。



《外国為替市場》

外国為替市場は、米利上げ期待の高まりを背景に、序盤は堅調な動きとなったものの、米雇用統計の内容を見極めたいとの思惑から積極的な売買が手控えられており、主要通貨は限定的な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。